（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十九年二月二十三日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万五千七百九十號　（一）

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

上聞に達す

ブナ轉進作戰に偉勳
擧隊鐵石・敵軍制壓
淵山、鵜飼兩部隊に感狀

【東京發】陸軍省發表（昭和十九年二月二十二日十六時）昭和十七年末より同十八年初頭に亘るスタンレー山系よりの轉進作戰に際し防空及び地上戰闘ならびに海上輸送作業に偉勳を建てたる淵山部隊及び鵜飼隊にさきに軍司令官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀
淵山部隊

右は昭和十七年七月ブナ方面に上陸するや爾來敵機の活躍熾烈なる際[illegible]として防空の核心となり彈藥の補給意の如くならざりしに拘はらず極力彈藥の節用に努めつつ同年十一月中旬に至る間兩ギルワ附近に於て二十數機、ブナ飛行場附近に於て四十數機合計約七十機を擊墜し克く敵機の跳梁を制壓し集積地及飛行場の確保を完遂せり

元來部隊の一部は[illegible]の地なるに拘はらず時々兩季に際會し[illegible]意の如くならず時々數日の斷食を見る[illegible]將兵の疲勞困憊[illegible]に達せし、昭和十七年十一月中旬以來の同方面の作戰急變し[illegible]大逼迫し我が陣地は[illegible]歩兵と同線となり、火砲は敵[illegible]に曝露し遂に對空射擊を施し得ざるに至るや、[illegible]は水平射擊に依り敵戰車を[illegible]し或は銃を執りて地上第一線としてブナ及ギルワ戰線に活躍し特に兩ギルワに於ては中地區次で前方區陣地の中核として克く全軍士氣の中心となりギルワ附近確守の主因を爲せり、斯くの如きは隊長の[illegible]堅固なる[illegible]並に[illegible]士氣を核心とする[illegible]の下[illegible]不撓旺盛なる攻擊精神と練達なる技倆とを遺憾なく發揮せるものにして全軍の模範たり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年二月十一日　軍司令官

感狀
野崎部隊鵜飼隊

右は昭和十七年七月ブナ方面上陸以來上陸部隊に密接に協力しありしが十二月中旬以降長期連續使用に依る舟艇の[illegible]修理部品の缺乏竝に燃料[illegible]の不足とに熾烈なる敵機の[illegible]竝に敵魚雷艇等の[illegible]の妨害等幾多の障碍を排除し軍需品の輸送及之が揚陸に任じ[illegible]克く[illegible]を維持し其の作戰を容易ならしめたり

特に昭和十八年一月上旬よりブナ方面部隊のギルワ轉進に至る間に於ては夜間頻繁する敵艇[illegible]に依り敵機竝に敵艇の妨害[illegible]したるに拘はらず[illegible]敵艇と戰闘を交へつつ困難なる患者輸送を遂行し其の[illegible]を容易ならしめたり

斯くの如きは隊長の適切[illegible]なる指揮の下部隊の[illegible]たる[illegible]せる技能を以て克く部隊の[illegible]に寄與せしと[illegible]大なるものとなしてブナ方面部隊の作戰に寄與せしもの[illegible]

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年二月十一日　軍司令官

擊墜に神技・敵も賞讃
「死闘續行の淵山部隊」

【東京發】淵山[illegible]中佐指揮下の部隊は昭和十七年七月バサブア附近に上陸して軍のモレスビー攻略作戰期間を通じてバサブアの上陸點、兩ギルワの軍需品集積場及ブナ飛行場の防空に任じ執拗に來襲する[illegible]敵機を邀擊、[illegible]射擊技術と[illegible]精神とを以つてこれを擊墜、敵機の活躍を制壓して友軍の士氣を鼓舞した、殊に十一月中旬[illegible]から敵兵力の[illegible]に依つて戰局一變、敵の攻擊が熾烈となり對空射擊が不可能となるや高射砲を地上攻擊火砲として活用、我が陣地に來襲し來れる敵戰車隊に對して水平射擊を浴びせて之を破碎、また地上部隊の第一線として我が陣地を確保するや旺盛なる戰闘力を發揮して敵戰力を破碎した、この間ブナ方面作戰部隊と同部隊補給の困難から長期に亘る糧食の缺乏と疾病のため將兵の[illegible]は甚だしく減耗してゐたが、隊長以下全將兵の士氣に燃えてこの重要任務を遂行したのであつた

敵機の擊墜　部隊は淵山隊長の指揮に依つて先づ[illegible]の敵機の性能を十分に[illegible]して[illegible]必殺の自信を得た、そこで將兵は[illegible]高空で我が火網を逃れつつ[illegible]敵機に[illegible]七月から十一月の五ケ月間にバサブア附近で十[illegible]機、兩ギルワ附近で十數機、さらにブナ附近では四十數機を擊墜した、ブナ附近では[illegible]の神技を示して友軍の士氣を鼓舞した、被害となつた敵空軍將校も淵山部隊の射擊技術の優秀性を賞讃すると共にブナ高射砲陣地が敵空軍の恐怖の的であつたことを語つてゐたことに依つてもその神技の程が窺はれる、また部隊は夙に補給困難を豫想して彈藥の節約に努め最後の射擊不能となつた時にもなほ相當多數の彈藥を殘してゐた

地上の戰闘　ギルワ地區兩陣地は十一月中旬から[illegible]本部隊の第一線陣地となり、ために淵山部隊は中地區の附近に陣地を轉換して對空戰闘を繼續せんとしたが同所の近くには兵站病院があり、ここを高射砲陣地とすると敵の空襲がここに集中されて病院にもまた損害を與へることを慮ひ遂に對空戰闘を斷念して地上戰闘に轉移する事となり、中地區の中間第一線となつて活躍した、また一方ブナ方面における[illegible]が愈々熾烈となり敵地上部隊の攻擊が同地區に加へられて敵戰車が現はれると同地區にあつた淵山部隊はこれに對し水平射擊を加へて戰車かこれを[illegible]するの敵戰を[illegible]たが、そのため敵が[illegible]して遂に射擊不可能となり、部隊將兵は砲を捨てて銃を執つて第一線に赴き[illegible]した、この間ブナ守備隊は大部分が死傷しての[illegible]し、同守備隊[illegible]を[illegible]させれ十八年一月五日部隊主力に合したので、その後に殘つた淵山部隊は同地區に中隊第一線として全力を[illegible]に集中したが、一月十三日淵山中佐は兩ギルワ地區の指揮を命ぜられた、同中佐は敵味方入り亂れての混戰の最中に於て自隊の兵力を中心として殘留の部隊を指揮し[illegible]敵の攻擊を[illegible]、[illegible]ギルワ地區確保の重要任務を果した

マンバレー補給に成功
鵜飼部隊の戰闘經過

【東京發】野崎部隊鵜飼隊[illegible]中尉の指揮する鵜飼隊は昭和十七年七月ブナ方面作戰開始以來ギルワにあつて當時唯一の海上輸送部隊として熾烈な敵機の妨害を排除しつつ、バサブアの[illegible]の揚陸作業、バサブアよりギルワ、ブナへの海上[illegible]及ブナ附近に到着した部隊のギルワ轉進援助など陸上作戰に寄與するなる協力を行つた、其後ブナ方面の戰況進展に伴ひ鵜飼隊は十二月十六日マンバレーに前進、山縣部隊第二次輸送部隊及マンバレー河口に揚陸する海上補給輸送の協力を擔任することとなつたマンバレーに對する海上補給はブナ方面の補給線を救ふ最後の手段でその成否は軍の作戰に重大影響を及ぼすものであり、鵜飼隊に與へられた任務は極めて重大であつた

マンバレーに到着　同隊は舟艇の故障を克服して海上輸送部隊と連絡、ここに待望のマンバレー海上補給は完全に成功した、しかしマンバレー河の部隊物資は更にこれをクムシへ輸送しなければならない、そこで鵜飼隊は主力をマンバレーに置き一部をクムシに移してこれを輸送した、[illegible]ギルワへの[illegible]上陸部隊のナバ[illegible]へ[illegible]に任じた、[illegible]の不足、[illegible]の[illegible]、[illegible]の不良、[illegible]の攻撃などあらゆる[illegible]と困難を克服してこの任務遂行に努めつつあつたが、これに屈せず十二月末までに[illegible]した鵜飼隊の活躍振りを略述すれば次の如くである

一、當時ギルワ方面の戰況は急を告げて兵力の增強食糧の補給は一刻もゆるがせに出來ぬ狀況で鵜飼隊は連日連夜舟艇を操り込んで決死の輸送に當つた

一、[illegible]に近い舟艇をしかもスコールに依る波浪中を夜間航行したため航行中故障續出して半數の舟艇は曳航に依る狀況であつたが全員屈せず夜を徹して故障の舟艇を修理し修理が終るや直ちに出動した、しかし

半歳　に及ぶ舟艇の酷使は舟艇の全部に及んで修理部品も不足を告げてゐた、修理部分品も不足を告げて破損の部分を[illegible]の[illegible]を流用したりして任務遂行に必死の努力を續けた

一、當時每日の如く降雨があつて舟艇員は濡れ鼠となつて夜間作業に努めたが暗黑の中の作業のことゝて舟艇は屢々同地方特有のリーフに乘上げその度每に全員水中に入つて離礁作業に從事した、また一日の食糧は僅かに一合でそのため體力の消耗著しく病人も續出した

一、南魚雷艇、飛行機の執拗な妨害を退けて時に敵の[illegible]と戰を交へ[illegible]したこともあつた[illegible]ある時は敵の砲彈は猛烈であつたが、その輸送中常に敵機の[illegible]を受けつつ[illegible]、[illegible]の[illegible]下に約一時間に亘る[illegible]の[illegible]を遂行しマンバレー基地には敵[illegible]が來襲したが、これを退けて[illegible]

戰局　は惡化の一途を辿りいよいよ困難を加へて來たが同隊は部隊と協同の下に[illegible]した昭和十八年に入るや同地區における唯一の海上輸送機關としてその後方勤務の重要使命を自覺して地味な任務に精進的に邁進した特記すべきは同隊がブナ部隊の轉進に當つて一月十二日から十日間に亘つてギルワより[illegible]の救出に任じて部隊が心配してゐたことである、また鵜飼隊の一部で小艦艇を指揮する部隊はブナ方面の戰局危殆を告げるや幹部の下にダンピール海峽を[illegible]ラバウルから山縣部隊石川大隊をクムシに到着してニューブリテン、ニューギニア間航路開拓に寄與した

兩部隊長略歷

【東京發】△淵山[illegible]中佐　[illegible]出身、[illegible]工業學校卒業、[illegible]中學校卒業、現役砲兵、歩兵學校教官、高射砲大隊長、現在千葉高射學校附、[illegible]、昭和十三年十月支那事變に參加、大東亞戰爭勃發と共に南方作戰に參加

△鵜飼[illegible]大尉　[illegible]出身、[illegible]高等工業、[illegible]中學出身、[illegible]

政戰兩略の一致具現
征戰目的速に達成
東條首相・決意を披瀝

【東京發】東條首相は去る十九日の内閣改造に引續き二十一日統帥府と政府との緊密化を徹底的に達成し更に強力なる人的配置により政戰略の完全なる一致の下、雄渾なる戰爭指導を強力に推進する態勢の確立を[illegible]し物心兩面の戰力を最高度に發揮して一路米英擊滅に邁進することになつたが、東條首相は皇國空前の非常時局に臨み二十二日の閣議席上重要なる發言を行ひ

一、現戰局は眞に重大であり

二、この皇國隆替の岐路に當り統帥と國務とを更に一段と緊密化し國家の國力を擧げて米英擊碎に凝集し以て作戰上要請の要求に遺憾なからしめることこそ必勝の[illegible]であり

三、勝たんがためには一切を白紙に返し障碍を[illegible]して大詔の[illegible]強力に所信に邁進し

四、[illegible]な[illegible]こそ[illegible]の要諦であり、諸閣僚は宜しく率先[illegible]として所信を[illegible]行すべし

五、これに一死報國の決意を新たにして政戰兩略の一致を文字通り具現し[illegible]果敢なる施策を實行以て征戰目的を達成し　聖慮を安んじ奉る

と強固不撓なる決意を披瀝した、東條首相の發言の要旨[illegible]の通り戰局は眞に重大である、敵は既にマーシャル群島に兵を進めその侵寇なくしてトラックの空襲を行つたことは御承知の通りである、敵の反攻は固より[illegible]して來つた所であるが、この戰局の現段階は眞に深刻であつて一瞬の猶豫も許さないものがあるのである、この段階を乘り切つてこそ始めて必勝の途は開かれるのである、今や正に帝國は文字通り存亡の岐路に立つてゐるのである、この秋に當り統帥と國務との更に一段の緊密化を圖り作戰における統帥の方略を果敢に遂行し國務においては國家の有するもの國民の持つ力を盡す處なく米英擊碎の一點に打込み以つて作戰において何等遺憾の事なからしむることは正に大東亞戰爭必勝の要訣である、統帥部に於てはこの[illegible]を[illegible]して更に一段の[illegible]の[illegible]を[illegible]して必勝を期してゐるのである、政府又今日の[illegible]を契機として如何なる困難も障碍もこれを突破して思切つて作戰の要求に即應せんと決意したのである、正に今日は大東亞戰爭完遂上劃期的の秋である、今や我々はこの決意を實行の上に具現するばかりである、各方面において今日まで何かと行かかりもあつたことと存ずるが、勝たんがためには一切を白紙に返し一切の障碍摩擦を超越して大詔[illegible]と信ずる處に邁進するばかりである、各官廳におかれては所管の政務を遂行せらるる上において從來の行掛りや慣習に捉はれることなく思切つた措置に出でていただきたい、この深刻なる戰局の現段階において聊かたりとも國力を戰爭完遂に直接寄與せしめ得ずこれがため悔を千載に殘すやうなことがあつては聖上に對し何とも申譯がない次第である、又祖先に對し將又子孫に對し何とも申譯のない次第である、この重大時局に處する方途については私としては既に考ふるところあり急速これが具體的方途につき研究させてゐる次第であるが皆様におかれても徹底的に協力を賜らんことを希望する、云ふまでもないがこの[illegible]は[illegible]必勝を[illegible]に[illegible]せしめねばならぬと考へてゐるのである、凡そ[illegible]所期の目的を完成せんがため各方面の指導者たる者々に課せられてゐるものは[illegible]といふことに盡きると云つても敢へて過言ではないと信ずる、緊急の事態に臨み部下の注目するのは指導者として牢固たる決意を斷乎として所信を實行するの秋今日より大なるはなしと存ずるのである、これを要するに今日は眞に皇國の興廢の分るる重大時局である、而して今日の情況を轉機とし我々が一大決心を以て突進するの秋、それには必ずや局面打開の途があるのである、私はここに各位諸方とともに必勝を固く信じて一死報國の決意を新たにし政戰兩略の一致を文字通り具現しあくまでも積極果敢なる施策に依り以て征戰の目的を達成して　聖慮を安んじ奉らんことを固く期する次第である

内閣改造後初の重大發言

【東京發】東條首相は二十二日内閣改造後初の閣議において極めて重大なる發言をなし政戰略の一致を[illegible]すべき[illegible]を行ひ[illegible]確固たる決意と所信とを率直に披瀝すると共に統帥府と政府との緊密化を[illegible]として一大國民心を喚起し國家及び國民の總力を米英擊碎の一點に打ち込み征戰目的達成のため[illegible]たる決戰施策を斷行すべき政府の[illegible]を[illegible]した、東條首相の發言は皇國の[illegible]に[illegible]する[illegible]の[illegible]に[illegible]り國民決戰の[illegible]の大任を負へる東條首相の非常の決意の端的なる[illegible]であり、國民等[illegible]の任にある[illegible]のみならず一億國民等しく首相と決意を同じくして征戰の目的達成に[illegible]邁進すべきは云ふまでもない、政府國民ともにこの[illegible]を[illegible]の上に具現しわが必勝[illegible]の[illegible]に[illegible]することと[illegible]つた、而して東條首相の言明した[illegible]は今後[illegible]に[illegible]化せられるものと見られ、政府[illegible]らへて更に一段の[illegible]し必勝を期してゐるのに[illegible]府は如何なる困難[illegible]を[illegible]思ひ切つて作戰の要求に[illegible]との[illegible]の決意をもつて大[illegible]に[illegible]と信ずるところに[illegible]する方針でありその具體的方途について首相は目下研究中であると言明したが、具體案を[illegible]して[illegible]に[illegible]する決意であつてかかる[illegible]重大なる[illegible]を[illegible]に實行に[illegible]各方面の[illegible]に[illegible]しては思ひ切つた措置がとられるべく又國民の[illegible]に[illegible]つても[illegible]を[illegible]もつて[illegible]ものは[illegible]力に[illegible]せられるものと[illegible]される

内務農商の行政一體化
内田氏入閣で急速推進

【東京發】東條内閣の[illegible]により決戰國内態勢は一段と[illegible]を加ふるに至り、殊に内田[illegible]相の[illegible]は内務行政部門から[illegible]大の好意を以て迎へられ、内田[illegible]相の[illegible]する内務[illegible]行政の[illegible]一[illegible]化[illegible]は早くも國内行政[illegible]に[illegible]的[illegible]化を期待させるに至つた、即ち内務省に於ても[illegible]から地方行政運營の[illegible]化を[illegible]と一致するのみならず、この際内田[illegible]相の[illegible]この實行力に物をいはせ行政の[illegible]行政を切り[illegible]き[illegible]下内務省に[illegible]ける[illegible]たる[illegible]の[illegible]、國民生活の確保を目ざして[illegible]する[illegible]なる[illegible]が推進さるべきものとしてその[illegible]向を注視してゐる、以上の具體的現はれとしては先づ内務、農商兩省における人事の交流であり[illegible]共に[illegible]を[illegible]し[illegible]を見る事になつてゐるが、更に中央行政の地方[illegible]に[illegible]る地方行政の[illegible]は[illegible]を[illegible]として[illegible]と地方廳との[illegible]の[illegible]化は[illegible]の[illegible]において[illegible]から[illegible]行政[illegible]に[illegible]の[illegible]が最も[illegible]に[illegible]となる[illegible]、内務、内田[illegible]が内閣の推進力となつて行くべきものと期待される、從つて今後内田内[illegible]相の方向を[illegible]すれば特に地方行政において[illegible]の方向に向ふべきものと見られる

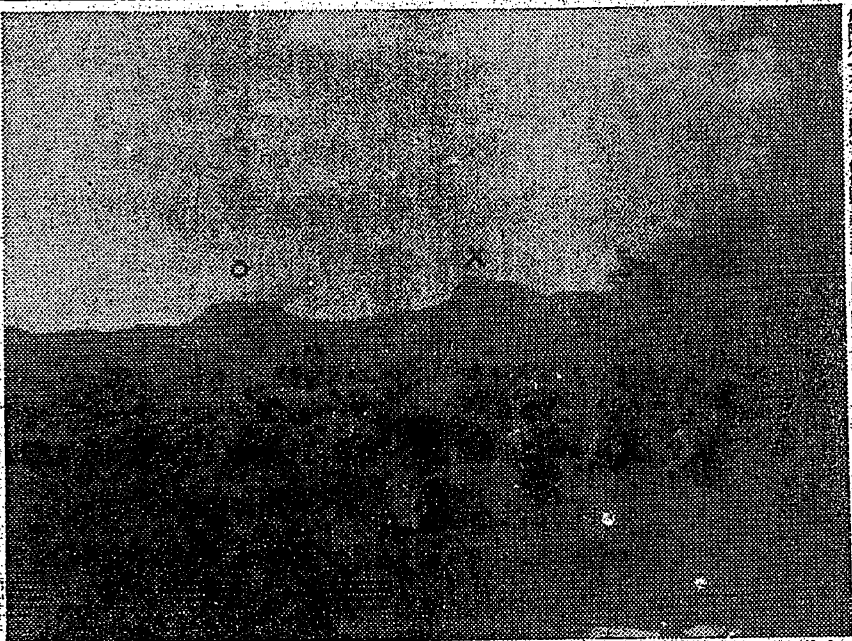
一、地方行政[illegible]の[illegible]化

一、特別地方[illegible]と都道府縣[illegible]の[illegible]

一、府縣間における[illegible]の[illegible]

定例閣議

【東京發】内閣[illegible]の[illegible]後初の定例閣議は二十二日午前十時より首相官邸に開會、東條首相、[illegible]、石黒大藏、内田[illegible]、五[illegible]の三新大臣など全閣僚出席、冒頭東條首相より今般行はれた[illegible]の更迭及[illegible]された[illegible]と[illegible]の[illegible]化の[illegible]につき[illegible]し、[illegible]の[illegible]せる[illegible]に[illegible]ふべき政府の重大[illegible]を[illegible]し各[illegible]より[illegible]の[illegible]あり[illegible]を重ね、同十一時二十五分散會した



南部印緬國境・彼我最前線突角陣地

【〇印我が突角陣地（一六一九高地）×印敵軍突角陣地（二〇〇一高地）】[illegible]

軍需工場と事業場
勤勞狀況查察を實施

【東京發】軍需省では全國主要[illegible]、[illegible]及び鑛山[illegible]を[illegible]、[illegible]地方[illegible]及び[illegible]民間[illegible]の協力を求め本省[illegible]を[illegible]まで[illegible]的な立場に立つことゝなつて[illegible]するため[illegible]を[illegible]に[illegible]する勤勞狀況を[illegible]せしめる[illegible]とし中央の行政方針を[illegible]とし[illegible]二十二日附次官通牒を以て[illegible]を左の如く[illegible]した、今回の查察は軍需工場における[illegible]の[illegible]を主眼とし[illegible]首腦者の[illegible]を通して[illegible]せしめると共に工場[illegible]に[illegible]する[illegible]の[illegible]を[illegible]せんとするものである、この[illegible]において查察は[illegible]に[illegible]、[illegible]の[illegible]を[illegible]すると共に[illegible]を[illegible]せしめる、查察[illegible]は一定期間を[illegible]して[illegible]に[illegible]せしめる、查察[illegible]は軍需監理部[illegible]に[illegible]これに[illegible]する

第一、方針　軍需工業[illegible]に[illegible]の勤勞管理に[illegible]する[illegible]及び[illegible]の勤勞狀況を[illegible]し勤勞者の能率向上を[illegible]すること大なるものある[illegible]に[illegible]を主眼とし[illegible]を[illegible]時且つ[illegible]に[illegible]しもつて生產[illegible]の[illegible]を[illegible]するものとす

第二、實施要領　一、查察員の[illegible]、查察は各地[illegible]監理部[illegible]において[illegible]これを實施するものとし[illegible]

二、查察項目、工場における勤勞管理[illegible]に關し反省及び[illegible]を[illegible]るため左の事項につき查察を實施するものとす

（一）[illegible]者の[illegible]部下勤勞者統率の狀況

（二）[illegible]規律、[illegible]及び勤勞[illegible]

（三）[illegible]及びその[illegible]の狀況

（四）勤勞[illegible]及び勤勞[illegible]の狀況

（五）給與

（六）[illegible]訓練

（七）生活管理

（八）その他必要なる事項

（イ）查察に當り關係當局の[illegible]狀況の[illegible]、[illegible]の[illegible]を[illegible]することあるも特別の資料の作成要求は努めてこれを行はざること

（ロ）[illegible]の[illegible]を[illegible]行し[illegible]の[illegible]の實地に[illegible]せしむること[illegible]

（ハ）查察の[illegible]を[illegible]なるものに[illegible]してはその[illegible]竝びに[illegible]の[illegible]に[illegible]すると共に[illegible]の[illegible]を[illegible]すること

事項は一定の期間を[illegible]してこれが實施を[illegible]せしむること

備考　本要領中軍需監理部とあるは鑛山については鑛山[illegible]局とす

駐米ソ聯大使
ル大統領訪問

【リスボン二十一日發同盟】ワシントン來電＝ワシントン[illegible]ソヴエット大使アンドレイ・グロムイコは二十一日ホワイト・ハウスに米國大統領ルーズベルトを訪問會談を遂げた、但し會談の内容は[illegible]されない

敵反攻作戰の動向
見よ、彼等の不逞な空想

國際展望

【東京發】

◇中部太平洋突破作戰に敵懸命

先月末我が[illegible]部[illegible]マーシャル群島に[illegible]して來た敵は[illegible]に[illegible]を[illegible]して更に[illegible]内[illegible]の[illegible]くカロリン諸島のトラック[illegible]を行つた敵の[illegible]が伸びて來るにつれ[illegible]として[illegible]を[illegible]帝國[illegible]にとつて[illegible]有利な[illegible]が出來て來るのである、しかし[illegible]らマーシャル[illegible]以來[illegible]つく[illegible]なく[illegible]た[illegible]に出て來る[illegible]の[illegible]力には[illegible]べからざるものがある、この[illegible]た[illegible]の[illegible]作戰の[illegible]向を[illegible]してみよう

三つの進攻路　[illegible]太平洋反攻作戰に[illegible]して[illegible]を行つてゐるがマーシャル作戰に際して[illegible]司令[illegible]ニミッツは[illegible]一日[illegible]日本[illegible]する[illegible]の[illegible]を[illegible]日本[illegible]への[illegible]と述べ[illegible]るものであり[illegible]との[illegible]と[illegible]この[illegible]の[illegible]を明らかにした、このニミッツの[illegible]を[illegible]してワイゼマンは米國の[illegible]にアジア大陸へ[illegible]ることを目的としてゐるやうに見える、[illegible]

太平洋の近道　[illegible]して[illegible]のマーシャル作戰と今後のカロリン作戰とは[illegible]この中央突破作戰の正攻法でありこれに[illegible]して[illegible]作戰は太平洋を[illegible]する近道を[illegible]

[illegible]作戰の[illegible]作戰[illegible]の内ニミッツの[illegible]に日本[illegible]を二分しやうとする[illegible]する[illegible]「[illegible]」と述べてゐる、然しこれら[illegible]は[illegible]とて日本[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐる[illegible]の[illegible]作戰のみをもつてしては[illegible]可能でこの目的を[illegible]することは[illegible]によるものの[illegible]が[illegible]ことは[illegible]にあつて[illegible]の一致した見解であり、このためには「[illegible]」[illegible]本土の近くに[illegible]した作戰基地を[illegible]しなければならない、その[illegible]合[illegible]の良いのは日本本土から[illegible]しか[illegible]てゐない上海[illegible]とすることである」と[illegible]のガーシャの[illegible]である、[illegible]して彼等はこれら[illegible]に[illegible]つて「先づ本土を[illegible]化して」から[illegible]と[illegible]によつて日本本土上陸作戰を[illegible]と[illegible]してゐるのである

[illegible]彼等の[illegible]は[illegible]の中央突破[illegible]なるものは[illegible]のものであるが日本に[illegible]して彼等は如何なることを[illegible]るのであらうか、この[illegible]分[illegible]が[illegible]に公式にとりあげられたのはカイロ會談であり、米英[illegible]はここで日本の[illegible]を[illegible]して[illegible]アジアに[illegible]本の[illegible]を[illegible]したのであつた、[illegible]によつてみるに彼等は[illegible]日本を[illegible]國時代の[illegible]にかへし[illegible]て米英[illegible]によつて日本國民を[illegible]しなければならぬとの[illegible]いてゐるのである、アジア[illegible]ついてみれば「[illegible]」に[illegible]チャーチルによりビルマ、マライその他の地方の[illegible]と[illegible]は[illegible]アジアの[illegible]に[illegible]分が行はれのであるが[illegible]は米英[illegible]や[illegible]となつて[illegible]重ねること[illegible]年[illegible]に[illegible]その[illegible]の[illegible]に米英の支[illegible]を[illegible]來ない、また[illegible]の[illegible]が[illegible]の[illegible]に[illegible]である、[illegible]が明らかにされてゐる以上我々に[illegible]された[illegible]は只一つ即ち大東亞共榮圏[illegible]的[illegible]化である、即ち大東亞共榮圏においては日本人一人々々が大東亞宣言の[illegible]を[illegible]して[illegible]せしめ十億のアジアの民衆を共同の[illegible]に[illegible]させしめると共に[illegible]國民の力を[illegible]して[illegible]に[illegible]へねばならぬ

我捕虜待遇は公正
英軍捕虜ホブソン准將證明

【ラングーン二十一日發同盟】[illegible]の[illegible]化に伴ひ[illegible]する[illegible]米英の[illegible]が[illegible]する[illegible]を[illegible]め[illegible]人道を無視した[illegible]を[illegible]日本[illegible]と共に[illegible]してその非を[illegible]はんとしてゐるとの[illegible]で日本が捕虜を[illegible]してゐるとのデマ放送によつて[illegible]にわれを[illegible]せんと[illegible]になつてゐる、然しながらわが國の捕虜待遇が公正妥當であることは[illegible]國赤十字社の[illegible]によつても明らかであるが、一昨年わが軍のビルマ進擊の[illegible]となつた英[illegible]准將ホブソンは[illegible]の手記を寄せて日本軍の捕虜待遇の正當なる[illegible]を明らかにしてゐる

手記　私は一昨年五月二日北シャン州モン・ユにおいて日本軍の捕虜となつた、私は多年滿洲國に住み日本にも二回旅行したことがある滿洲で[illegible]は英國[illegible]社に[illegible]めてゐた關係上あらゆる階級の日本人と面接する機會があり又多少の日本語を[illegible]ことが出來た日本人は[illegible]親切でよく外國人を[illegible]が[illegible]が判つて[illegible]もの[illegible]比べて[illegible]は[illegible]へと[illegible]する[illegible]で作法を無視する[illegible]が日本人には[illegible]そんなことはない、又日本人は[illegible]常に[illegible]で[illegible]だと[illegible]かココア等をもつてゐる[illegible]合は[illegible]頃の私にいつでも分けてくれたがわれわれとしては心から[illegible]しかつた[illegible]でわれわれは日本兵と一緒に[illegible]で水浴びをしたこともある、私は日本の食物が好きなので生活も樂であつた、日本の兵士について特に私が心から[illegible]いたことは[illegible]友[illegible]が[illegible]く[illegible]に[illegible]つてゐることであつた[illegible]兵隊も[illegible]に[illegible]つてゐる[illegible]、ワンチンで最後の夜を[illegible]た時に日本の兵隊は私に[illegible]のミルクさへも與へてくれたがこれは私にとつては[illegible]るものであつた、ワンチンからメイミョウへのトラック旅行の際にも[illegible]の日本兵は非常に親切で私に結果品を分けてくれた、メイミョウでも日本軍[illegible]より[illegible]や[illegible]の[illegible]給を受けた[illegible]の手當も受けた、又當時手に入りにくかつたパンやビフテキまでも與へられた、私はこの事を[illegible]と述べるのはこれらの物は日本軍の[illegible]の中には[illegible]く[illegible]の[illegible]が特に苦心して私に分けてくれたものであるからだ、私の[illegible]三名の[illegible]兵は[illegible]したが彼等はいづれも甚だ親切に[illegible]してくれた私は、[illegible]、ワンチン、メイミョウ、マンダレーの道中には日本軍[illegible]から受けた親切に對し深く感謝の意を表してゐる、わが國は今戰爭中ではあるが若しも日本人に對しもつと理解があれば日本人も又英國人に對し更に深く理解をもつて臨んだことと思はれる、私の經驗によれば個人と個人との間にはなんら[illegible]のあるものではない、その[illegible]私は[illegible]にも[illegible]面接の[illegible]を得たが彼は最初から私と「人間と人間」の交際として待遇してくれたのみならず常に助言や友情によつて私を勵ましてくれた、私は若し米英國民がもつとよく日本人を知り最初から日本の立場に深く理解をもつてさへすれば[illegible]の戰爭は起らなかつたものと思ふ、[illegible]の如き[illegible]に住み日本人と共に働いてゐたものにとつてはこの數年間日本人が不幸をもつてゐたことがよく理解出來る、日本が[illegible]を脫退する前に米英兩國政府が日本の[illegible]の[illegible]に關し更に考慮さへすれば今日の如く多くの血を流すことなくして[illegible]んだものと信ずる、最後に私は捕虜となつてから二年間第一線の日本軍將兵が常に親切に待遇してくれたことを喜んでここに述べることが出來る

敵學徒兵と雌雄決す
先輩は招く・大空に續け

【ラバウルにて[illegible]海軍報道班員】[illegible]學徒出陣の決戰は[illegible]將兵の士氣を非常に[illegible]めてゐる、特に[illegible]アメリカ空軍の主戰が學生出身者であると言ふ事實を見る秋我が學徒兵[illegible]が[illegible]と[illegible]出陣し[illegible]で敵學徒兵と相見えることを[illegible]すると言ふ事は[illegible]この光景を[illegible]の[illegible]び[illegible]いが、更に前線の勇士をどれだけ力づけてゐるか知れない、ラバウルの〇〇[illegible]隊には[illegible]の[illegible]なる[illegible]士官が〇名居り中には既に[illegible]を[illegible]つて大空の決戰に[illegible]勇[illegible]、[illegible]を[illegible]に[illegible]て[illegible]な[illegible]を[illegible]げた[illegible]へも[illegible]るが、この先輩達は「後徒は大空に續け」と後輩の[illegible]の如く呼びかけ更にその[illegible]を[illegible]してゐる

I中尉（日大出身）　自分は在學中特に飛行機に[illegible]係して居た[illegible]もなく[illegible]更[illegible]を持つてゐたでもなかつた、しかし今次[illegible]空戰の[illegible]を見るにアメリカ空軍の大半が學生出身者だと知つた時腦の底から[illegible]なる熱血が[illegible]るのを[illegible]した、自分にもやつてやれない事はなからうと思ふと矢も[illegible]もたまらず[illegible]を志願した、今私は第一線に立つて[illegible]を[illegible]つてゐる、大丈夫やれる、五[illegible]の[illegible]な若者なら誰でも飛行機に乘れる、[illegible]の大空で敵學徒兵と雌雄を決する事こそ日本男子[illegible]の本懷だ、故國の[illegible]に告ぐ、來れ太平洋の新空戰場に

O少尉（中央大學[illegible]）　私は今[illegible]技術[illegible]成所出身[illegible]學生飛行士[illegible]を經へ初級士官として全力を注いでゐるが自分を反省し周圍を見詰め後に續く諸君に一言與へたい、學生が[illegible]された時代は既に去つた、南に北に吾々の仲間は全生命を投げ出して戰つてゐる、吾々の目の前で此[illegible]の[illegible]と散つた吾々の級友は知識の戰だ、精神力は當然の事だが優秀な知識と[illegible]力を持つてゐる者が勝だ、海軍に入つて得た知識を十二分に發揮する事は當然であるが更に學園において[illegible]もので[illegible]して[illegible]ならない、現代の戰爭は[illegible]で[illegible]を[illegible]くかこれは大なる誤りだ、卒業[illegible]になると兎角[illegible]は[illegible]ちになると言ふ事を[illegible]得[illegible]の[illegible]出身者が學園で得た知識を活用せねばならぬ[illegible]學園においても[illegible]に多い外國語に於て然り、[illegible]に於て然り、[illegible]において然り

M少尉（京大出身）學生出身者として如何に[illegible]すれば[illegible]足[illegible]奉公が出來るか、過去の[illegible]を[illegible]通して明確に言ひ得る事は「重要なる學徒は[illegible]に有能なる士官である」と言ふことだ、[illegible]に立つて始めて自己の内容の貧弱なることに氣がついても[illegible]遅い、[illegible]はわれわれを[illegible]しく生れ變つた様にするかも知れぬが、それとても基礎なしには有能なものにはなり得ない[illegible]力、氣力、學力其他すべてのものが[illegible]と言ふ[illegible]の[illegible]門でテストされる、しかもそれはやり直しが[illegible]ない、[illegible]が日[illegible]化すればする程これは[illegible]になつて來る、要するに[illegible]生生活を[illegible]し[illegible]に[illegible]な生活として[illegible]じ[illegible]と[illegible]の[illegible]に[illegible]かれん事を[illegible]む

S少尉（日大出身）〇君俺が海軍に入つた動機は君も知つてゐるだらう、學生時代ボートをやつて海に親しんでゐたと言ふことだけでなしに海は俺の性格にぴつたり合ふ[illegible]だつたからだ、そして今[illegible]に入り、この[illegible]を益々[illegible]くした、海軍と言ふところは[illegible]分の性格才能を十分に伸ばすことが出來るところだ、特に[illegible]は飛行機を[illegible]んだその理由は[illegible]するまでもなからう、アメリカの學生などに負けて[illegible]るものか、[illegible]は今[illegible]隊[illegible]に[illegible]へられた任務に全力を[illegible]してゐる、[illegible]士官などと言ふ[illegible]は全然ない、これは[illegible]自[illegible]もさうだし、周[illegible]もさうだ〇〇[illegible]隊へ來い、[illegible]だ、いや君だけでないみな引連れて來い

凄慘な市街戰

【ストックホルム二十一日發同盟】[illegible]カーネフ[illegible]でドイツ軍に包圍[illegible]された[illegible]は兵力を[illegible]し[illegible]を[illegible]してクリヴォイ・ログに[illegible]二十一日朝[illegible]の[illegible]では[illegible]の[illegible]はまだ[illegible]れておる、[illegible]ではブスコフ攻防戰の前哨戰とも稱すべき[illegible]のドノー攻撃はいよいよ激化し東、東北、西北の三方面からひた押しに攻擊を加へてゐるがドノーを守備するドイツの作戰はまた[illegible]を[illegible]の[illegible]を[illegible]に阻止してゐる模樣[illegible]

獨逸西南部を爆擊

【リスボン二十一日發同盟】[illegible]ドイツ[illegible]ソ[illegible]日[illegible]ドイツの西南部の[illegible]十日のドイツ[illegible]と[illegible]三千機に上つた[illegible]二十一日[illegible]した

本[illegible]部[illegible]は二十日の[illegible]において日本[illegible]が[illegible]ニューギニアダンピール海峽東側[illegible]に[illegible]攻擊を加へた旨[illegible]表した

反樞軸首腦者任命

【リスボン二十一日發同盟】ワシントン[illegible]の[illegible]マーシャル[illegible]をロンドン[illegible]を英國[illegible]司令官兼[illegible]に任命、同時に[illegible]部司令官としてカサブランカ[illegible]司令官少將ジョン・ウイルクスを夫々任命した旨二十一日發表した、右三[illegible]は何れも[illegible]スタークの指揮下に入る

グンビ岬地區を荒鷲爆擊

【リスボン二十一日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋[illegible]は〇〇[illegible]空隊へ來い[illegible]

臺灣糖業關係官廳協議會

【東京發】臺灣における糖業を[illegible]に[illegible]のため作付[illegible]を行ふか[illegible]して政府[illegible]生產品を[illegible]すべきかは戰下の[illegible]める[illegible]に於て[illegible]の[illegible]でこれが根本[illegible]のため二十二日午前十時から內務省に[illegible]係、竹內[illegible]局長より[illegible]に[illegible]する[illegible]を[illegible]ける砂糖の生產[illegible]の說明の後一、[illegible]に於ける[illegible]の[illegible]況及びこれが對策一、昭和十七、一八年期以降の[illegible]生產目標を[illegible]に[illegible]を主として[illegible]に[illegible]を[illegible]みて[illegible]を遂げたが方針を決定するまでに至らず午後三時散會した

人事

▲同盟通[illegible]氏（[illegible]）來北（鐵道ホテル）

▲[illegible]氏（[illegible]）廿二日來北（吾妻）

▲片岡[illegible]氏（[illegible]）大甲[illegible]より[illegible]北、花蓮港へ

▲小野[illegible]氏（[illegible]）廿三日來北（鐵道ホテル）

▲村井[illegible]氏（[illegible]）上京中のところ臨北[illegible]店宅）

けふの官報

▲勅令[illegible]行政官廳[illegible]行令中改正▲[illegible]行令中改正▲[illegible]令改正▲[illegible]令改正▲[illegible]
[illegible]

貯蓄は特に
投資信託時代

國つ貯の生活に一心不亂の時代にあなたの貯蓄の運用と貯蓄の增强は山一の投資信託で果しませう。專門家の巧みな運用で年率四分四五厘の安全な配當を得て、三年の滿期には運用利益の加配も樂しめます。滿期になると締切りますから御早く御申込み下さい。詳しい說明書差上げます。

只今募集中

山一證券臺北支店
臺北市京町二ノ一一

社說

統帥と國務の緊密化完璧

首相たり又陸相、軍需相を兼ぬる東條陸軍大將が今回參謀總長に親補され、又海相たる嶋田海軍大將が軍令部總長に親補せられた事は統帥と國務との間隙するところなき緊密化に徹したものであり、苛烈なる戰局に對處する眞に不敗の戰爭指導態勢は玆に最高度に確立された。それは又同時に皇國の興廢と東亞の隆替とを決する未曾有の重大戰局に對處し敵を逸せず敵米英の野望を粉碎し最後勝利へ邁進する政府の烈々たる決意を示すものである。昨年九月御前會議決定の國政運營要綱が十全の形に於て具現されたのである。

最高度の總力戰たる現代戰に於ては戰力の飛躍的なる增強と戰局の爲めに統帥と國務との完全なる緊密不可分化は絕對の要求である。[illegible]

されど、斯くの如き[illegible]

四億攻略あと三十餘日

體當りで貯め拔かう

貯蓄總突擊運動要綱決る

[illegible]貯蓄額の總決算日は餘すところあと三十餘日で四億六千萬圓の完全攻略は銃後島民の名譽にかけて必ずやり遂げねばならない、貯蓄も決戰だ、お互ひに決戰を勝ち拔く不退轉の鐵石の決意を以て本年度掉尾の貯蓄總突擊を敢行すべきである。督府財務局では本年度貯蓄完遂の總攻略に際し戰時貯蓄運動を電擊的に展開すべく別項[illegible]

戰爭現段階と國民の態度

[illegible]

四億貯蓄總突擊運動實施要綱

趣旨 今や戰局は益々深刻苛烈の度を加へ物的戰力增強の要今日程急なるはなし、かかる要請に即應し島民に貯蓄により物的戰力の增強を圖ると共に通貨の膨脹を抑制して物價騰貴を防ぎ國民生活の安定を期する爲、島民は凡ゆる困苦を克服し決戰生活の實踐を徹底し、全力を擧げて貯蓄の增強に努め、以て本年度四億貯蓄目標を突破せざるべからず而して本年度第三、四半期迄の本島貯蓄實績は三億餘萬圓にして四億達成には正に一段の努力を要する實情にあるに鑑み、此の時期に本運動を展開し以て四億貯蓄の突破を期せんとす

期間 二月一日より三月三十一日まで、右期間中に於て更に一週又は一旬を劃し本運動を展開し最高潮に達せしむるが如く措置すること

要領 一、貯蓄の增强が大東亞戰爭必勝の絕對要件にして「貯蓄も戰鬪行爲」なる所以を闡明し島民の決戰生活實踐の徹底を圖るものとす

二、四億貯蓄の完全突破を期する爲、本期間中の特別目標を六千萬圓（本年度末の二箇月分）とし之に對し總突擊を敢行するものとす

三、本運動實施を機會に貯蓄の實踐を期し[illegible]を圖るものとす

措置 一、州廳に於ては廣く各團體を支援して、其の活動を促すと共に關係部課を動員し概ね左の線に沿ひ强力なる推進を行ふものとす

（イ）島民の決戰生活實踐の徹底に付ては島民奉公會に於て展開する運動と相俟つて效果の發揚を期するものとす

（ロ）貯蓄班を強化し本運動を繞めて活潑に展開せしめ成果の萬全を期するものとす

（ハ）各種貯蓄組合の目標額の必成を期するものとす

[illegible]

通譯つきの宣撫隊

（ニューギニアのパプア人）

部落、部落で今なほ原始生活をするパプア人にも大東亞戰爭の眞意と強い日本の姿が說かれる。ニューギニア民政府では宣撫隊を組織して熱帶の各地へ派遣、密林を踏み分け部落の訪問をして宣撫隊の活躍がつゞけられてゐる。宣撫隊には日本語とパプア語への通譯がつくものだがその通譯も日本語からマレー語へマレー語からパプア語へと通譯するだけではなくときにはパプア語にも通譯をつけねばならぬほど部落部落に言葉がある。寫眞のニューギニアのそのまゝ低地も宣撫隊は大東亞共榮圏の理想を說いて行く【寫眞は（上）宣撫隊歡迎の踊り（下）頭に花をつけたパプア人の男】―海軍省許可濟第一六號―

纎維製品代行人機關全廢に決す

[illegible]

鹽荷役を一元的に

臺灣鹽荷役會社設立

[illegible]

產業各面の强力施策

微力ながら目的達成へ

石井理事長語る

[illegible]

重要物資營團人事

石井理事長以下發令

[illegible]

克服せよ・增炭隘路

森部局長、今川社長縱橫談

出席者（順序不同）
總督府鑛工局長　森部　隆
臺灣石炭會社社長　今川　淵
同盟通信臺北支社　[illegible]

[illegible]

幾多隘路も着々解決

―適正炭價の基準問題―

[illegible]

臺灣農業會設立進む

[illegible]

高雄州農業會設立總會

[illegible]

決戰

野菜配給と生產割當制

[illegible]

市況（廿二日）

兜町前場況

[illegible]

東京長期前場

東京銀行貿株

東京國債實物前場

東京長期總取組

[illegible]

肥る基

胃腸諸症
結核衰弱
榮養不良

イースト

虫下しに
マクノール錠
をのんで
眞の健康体に
なりませう
蛔虫は國民の大敵です
必ず毎月マクノールをのみませう

電話御案內

本社　各部共通　電二五三三・電三三二七（臺北市築地町一ノ二）
　　　經理部　電六五三二
分室　祕書室　電三一八九・電四五八一（臺北市本町三ノ三）
　　　企畫室

南日本漁業統制株式會社

拜啓陳者弊社儀豫而臺灣水產統制令ニ依リ設立準備中ノ處本月九日無事創立總會ヲ終了シ國家ノ要請ニ基ク統制體形ヲ整ヘ食糧報國ノ重大使命達成ノ爲メ邁進スル事ト相成候ニ付テハ今後共宜敷御支援ト御指導ヲ賜リ度御願申上候

先ハ乍略儀以紙上御挨拶旁々御願申上度如斯御座候

昭和十九年二月

本社　臺北市築地町一丁目二番地
南日本漁業統制株式會社

社長伯爵　有馬賴寧
副社長　前根壽一
理事　松崎友一
同　吉原昇三
同　石原數馬
同　武藤輝雄
參與理事　加藤恭平
同　增田次郎
同　藤山愛一郎
監事　與儀喜宣
同　和泉種次郎
相談役　田村啓三
同　中部幾次郎

御挨拶

今回臺灣水產統制令ニ基キ下名等本月十日ヲ以テ南日本漁業統制株式會社ニ統合又ハ出資ニ因ル事業ノ引繼ヲ了シ候ニ付テハ多年ニ亙ル御懇情ヲ拜謝仕リ候尙ホ今後新會社ニ對シテモ倍舊ノ御支援御指導ノ程御願申上候

先ハ不取敢御挨拶申上度如斯御座候　敬具

昭和十九年二月

指定會社　日本海洋漁業統制株式會社
同　西大洋漁業統制株式會社
同　拓洋水產株式會社
同　東部水產株式會社
同　西臺灣水產株式會社
蓬萊漁業株式會社
新高水產開發株式會社
臺灣水產工業株式會社
和田松樹
林捨茂
大黑寅藏
田村英吉
濱田淺吉
川越光市
吉井鍵久
本多吉

追而右指定會社ハ新設會社ニ統合セラレ二月十日ヲ以テ解消仕リ候

闘ふ臺灣の學兵
水○部隊
戸○部隊

【東京支社發】大東亞戰爭勃發以來、皇民としての本誼を遺憾なく發揮した本島同胞は或ひは勇躍軍夫隊となり高砂義勇隊となつて御奉公を致し、殊に陸軍特別志願兵制度に依り既に幾多が皇國の兵として帝國の礎に殉ずるの偉勲をたてたのであるが、徴兵制施行はいよいよ來年に迫り皇國に生をうけたものの等しく米英撃滅への燃ゆる念願は今こそ叶へられる時はきたその徴兵實行に先立つてまづ特別志願兵が許可され、○○名の本島志願兵は男子ペンを捨つて戎衣を身に各地各部隊に配屬され晴れの入營をしたのである、一月二十日入營を終つた本島志願兵は軍紀嚴正も雄々しく、今や帝國の兵としての錬成に寸刻も惜まぬ訓練に日夜鍛へられてゐる、彼等がこの日を待つてゐたのだ、大東亞建設への念願は果される日が迫つてきたのだ本島志願兵は今ぞ大らかなる希望を抱いて米英撃たん光榮の日を目ざし錬成にいそしんでゐる、入營直後の錬成狀況を本社同記者に傳へるため本社東京支社では水戸、若松、仙臺の各部隊を訪づれ志願兵の感想を聞いたのである

慈愛に滿ちた教育
大使命に精勵する兵達

【水戸にて杉田本社特派員發】

『右向け前へ進め』

「頭右前へ進め」號令と兵の靴の音が交り、ひきしまつた號令をまきあげてゐる、これぞ本島志願兵の訓練だ、ガッシリとした肩幅、輝く眼、一ッ星の軍服もぴつたり似合ひ、腰の短劍、脚のゲートルもしつかりとして何處から見ても立派な皇軍の兵である「これが入營五日目だとは誰にも思へないほど整然としてゐる「教育してみて判つたことだが先づ何よりも嬉しいことは彼等が非常に熱心なことだ、氣分も極めてよろしい、入營當日戦闘帽から[illegible]に入つた際にも規律正しくて號令や動作がすつかり兵隊になつてゐた入營の日もさうである、まあ一度訓練ぶりを見て頂きたい」と部隊副官が太鼓判を押した、また「正直で教へられたことは實行し研究心が強いので全く教へ甲斐があります」と教官が力強く云ひきつたのは本當だと思つた、入營直後なのでまだ基本教練を行つてゐるが來週はもう執銃に入るといふ早さだ、居室は各隊に配屬されて内地新兵と一緒である、部隊でも

志願兵訓育には

特に力を注ぎ優秀な教官と助教を選定してゐる、教官は石川中佐、錬神訓話秋谷中尉、教官中村少尉、補助教官[illegible]見習士官のほか助教伍長二名、兵長二名、助手上等兵五名といふ陣容で佐官以下十二名が指導の任に當つてゐる、基本訓練終了後は内地兵と共に四ケ月の訓練を經て幹部候補生に入り將來皇軍の將校になる筈であるが、それだけ短期間に皇軍の精髓を體得しなければならないので寸時とも忽がせに出來ない、據え銃、立銃、速歩行進、基本體操のほかに學科は敬禮、執手注目の敬禮、部隊監督から始まつて内務令、歩兵操典、軍隊内務書が教授され、第一回は錬神訓話があり、藤田東湖の[illegible]精神や皇國軍人の死生觀等について訓話をうける

部隊の日課は

起床六時半、點呼七時、朝食七時半、學科訓練は八時半から十一時まで、午食十二時、訓練十三時から十六時まで續き、十六時入浴、十七時夕食、二十時點呼、二十一時消燈の順序で整然と實行されてゐる、不規則な學窓生活と違つて[illegible]行くのだ、志願兵達は兵營の直前に[illegible]として[illegible]たり[illegible]、[illegible]、[illegible]志願兵達も教官に引率され[illegible]を高唱しながら[illegible]に行進した、清い空氣と輝く太陽の下で[illegible]鍛へられてゆくのだ、休憩の時間は新兵にとつては最も嬉しいひと時である、[illegible]官を囲んで圓陣を作り、談笑してゐる[illegible]に和かである、[illegible]兵と教官とは兄とも弟とも仰ぎ[illegible]してゐる、世界無比の皇軍の[illegible]は此處にあるのだ、この二十分の休憩時を利用して記者は[illegible]

『自分らは毎日嬉しく』

兵としての感想を[illegible]に[illegible]へて下さい、[illegible]のために特に自分らは[illegible]ます、隊内で[illegible]す、來年は本島にも徴兵令が[illegible]ひたいことは何よりもまづ[illegible]とです、志願兵は持久力耐[illegible]たがまづ頑健な體力を作る[illegible]は[illegible]つもりで[illegible]、[illegible]出身[illegible]は一枚の紙[illegible]に我慢が[illegible]、また[illegible]君（臺中州北斗郡[illegible]）「[illegible]捨てて御楯とならん[illegible]を示し[illegible]御楯とならん[illegible]東部○○部隊は[illegible]の[illegible]に米英人を[illegible]部隊[illegible]大[illegible]が米英撃滅の大[illegible]訓練が[illegible]てゐる、[illegible]

一、[illegible]皇絶體忠誠の發揮　二、皇軍意識の徹底　三、神武精神の昂揚

寫眞說明＝素たる教練動作（上）颯爽と歩武堂々の行進中、（下）カツトは團隊をつくつて[illegible]長の訓示＝何れも陸軍省檢閲濟

入營感想

[illegible]

我々は兵營生活に[illegible]

（この項終り）

粉骨碎身忠勤を

[illegible]に於て臨時入隊式に臨み歩武堂々と[illegible]に進んでおしく[illegible]し[illegible]たことをお誓ひ申上げた、続いて我等の最も尊嚴なる入隊式が學行され部隊長殿より御懇篤なる御說諭と御訓示があり一言半句胸奧に入たる我等一人として感奮を喫らさないものはない、これを肝に銘じて一死以て君國に報ずるの覺悟を堅く誓めた、夜消燈ラッパの音と共に營内無人の境の如く靜寂になり明起床ラッパと共に跳ね起きて千里の道を早駈けで藤田東湖先生の[illegible]に參拜し[illegible]隊長殿の方が[illegible]を[illegible]つて直ちに[illegible]を[illegible]る、我々は[illegible]を奉戴し[illegible]の御恩に[illegible]し[illegible]年の[illegible]を十分に發揮し一刻も早く皇軍の精兵として直接第一線に參加し[illegible]米英の非道を破碎し以て宸襟を安じ奉らんとするものである、我同胞よ我我に續け一時も早く皇軍の一員たれこれが我々が諸子に[illegible]する唯一の言葉である

昭和十九年一月二十日　長谷川正儀（臺中州[illegible]郡大[illegible]）

[illegible]東部○○部隊の營門をくゞつた我等[illegible]志願兵は[illegible]らしい陸軍二等兵の軍服に身を[illegible]めるや午後一時部隊長殿臨席の下に[illegible]に於て盛大なる入隊式が學行された、また[illegible]

燃える『滅敵』の魂
第二回臺北州學徒號を獻納
陸海各一機へ張切る醵出

◇…僕たち、私たち學生生徒が、兄達がこの決戦の大空に憎い米英兵をヤッツケル良い方法はないだらうか…あゝさうだ飛行機を作るお金を献金する事だ、さうすれば僕達のお金で製作された飛行機に私達のお兄さんやお父さんである皇國の強い兵隊さん達が乘つてうんと戰つて憎い米英兵をヤッツケて下さるのだ、嬉しい事ださあやらう飛行機献納資金をと……臺北州では州下各學校生徒、兒童は勿論の事、學校職員、學校關係の州市部職員等が奮起して昨年に行つた第一回臺北州學徒號にひきつづき第二回臺北州學徒號を献納決戦の大空へ羽搏かせる事になつた、醵出期間は一月より十月迄の十ケ月間であるが、南に北にまた大陸の曠野に擴がる無敵皇軍の輝やく大戰果と共にトラック島に來襲せる小癪な米鬼の攻撃に奮起した生徒や兒童團の熱意は物凄く、拍手をあげて献納に贊成、一日でも早く献納資金を醵出すると共に第三回、第四回と献納運動を續けようではないかと燃えた張切りぶりである

◇…献納機は陸海軍各一機で醵出する事になつてゐるが目標額二十四萬三千八百四十圓にむかつて州市部教育職員（[illegible]）、[illegible]職員六十錢、國民學校職員（中等學校各四十錢）中等學校生三十錢、補習學校生二十錢、國民學校兒童十錢の基準によつて強力に醵出する事となつた

男子の本懐
感狀上聞　淵山中佐

【長崎發】過ぐるニューギニヤ島ブナ、ギルワの激戰に勇戰奮鬪最後の瞬間まで射つて射つて射ちまくり敵機七十餘機を撃墜といふ赫々たる武勳を樹て今回畏くも感狀上聞に達した淵山直美砲兵中佐は大村市の出身、代々大村藩の砲術指南番として仕へた家柄である、同中佐一家は現在夫人の郷里である長崎縣西彼杵郡[illegible]村に居を移して中佐の武運長久を祈念してゐるが夫人りつ子（[illegible]）さんとの間に長男英太郎（[illegible]）君、長女英子（[illegible]）さんがある、感狀上聞に達した光榮の報を齎せた記者に襟を正しながら

身に餘る光榮で感激の外ありません、しかしあの戰果は偏へに部下の奮戰によるものであると自分は思ひます、部下は實によく戰つて呉れました、部下の奮鬪振りは文字通り鬼神を哭かしむるものがありました、この榮譽を部下と共に身に刻み一層努力を致して御奉公したいと思ひます

と物靜かに語りあくまで部下の武功を讃へるのみでこの隊長あつてこそ奮戰の中からこの輝やかしい戰果を擧げたのだとの感を深くせしむるものがある、中佐は明朗活潑な性格で[illegible]の者であるが一面尺八をよくし風流の武人でもある

獻金

【基隆】基隆市[illegible]町二ノ二酒井[illegible]太郎氏は金六十圓を飛行機献納金として基隆署を通して獻金した

元氣潑剌
臺北市の青少年團查閲

臺北市青少年團の查閲は既報の如く十七日より引つづき行はれるが、廿二日も午後五時より圓山[illegible]所に於て田中防[illegible]、[illegible]原[illegible]等が夫々查閲官となり查閲を實施したが、明年の徴兵制を目ざし本島同胞青年の[illegible]氣魄のみなぎる元氣一ぱいの態度を示し查閲を好成績に終了した、尚二十三日の青年團の查閲は[illegible]終了したので查閲にひきつづき同日午後六時より市内十二ケ所の訓練所に於て小見山[illegible]團長、[illegible]が臨席の下に修了式を擧行した

工業學校の卒業生
使用制限を擴大す

【東京發】從來甲種工業學校以上の理工系卒業生にのみ適用されてゐた會社工場等の使用制限の範圍を乙種工業學校卒業生にも擴げることになつた、技術者の需給が愈々逼迫するに鑑み、これが需給を調整するため厚生省では同制限令施行規則及び卒業生使用制限[illegible]等を二十三日の官報で告示する、このいはゆる甲乙の區別とは甲種は國民學校初等科卒業後入學五ケ年の課程を經る工業學校、或ひは國民學校高等科卒業二ケ年の課程を修了した者を云ふので、乙種とは國民學校初等科卒業三ケ年（夜間は四ケ年）の[illegible]

臺灣技術協議會
通常總會＝引續き講演會

[illegible]

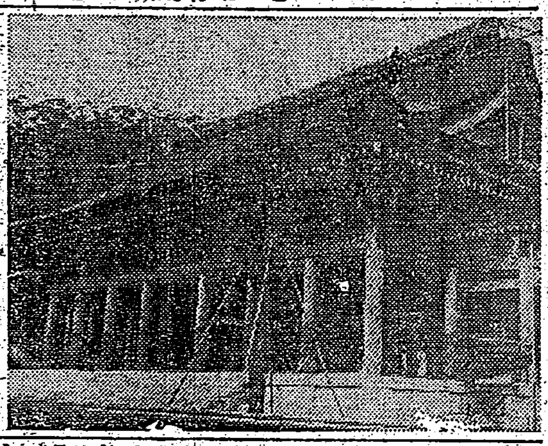
臺灣神社の御造營
工事は順調に進捗
御遷座祭は今秋の豫定

六百五十萬島民が熱誠奉讃の誠を捧げまつる本島の總鎭守官幣大社臺灣神社の御社殿御造營工事は去る昭和十一年度に着工したが、起工後間もなく支那事變が勃發したため諸物資の逼迫、勞働力の不足等幾多の惡條件が山積したにも拘らず本島官民を擧げての熱誠と關係各方面の多大の協力とにより工事をすゝめ[illegible]、工事も順調に進捗して居り、[illegible]工區は概ね之を終了し、林務、外苑等の各工事も併行して着々進捗しつゝあり、新社殿の御遷座祭も特別の支障のない限り今秋には執り行はれる豫定との事である、而して新社殿造營工事はいまどの程度までに進行したか、去る日工事現場を訪ねた以下はその工事の中間報告である

[illegible]

協力に

[illegible]



流れ造

[illegible]

日本一

の名に恥ぬもの[illegible]

御靈代

を奉安する本殿[illegible]

重點を

[illegible]

【寫眞は新社殿の一部】

長谷川皇奉總裁
隣保扶助・災害復舊に挺身
臺中新竹兩州下の篤行家を表彰

昨年七月十七、八日、本島中部に襲來した暴風雨のため臺中、新竹兩州の一部に被害があつた際、[illegible]において[illegible]のみならず、一般に[illegible]を以て災害の復舊に大なる力を致した篤行者に對し皇民奉公會長谷川總裁より表彰することとなり、皇奉本部ではかねて[illegible]中であつたが、此程完了したので二十二日[illegible]

▲團體の部

[illegible]

▲個人の分

[illegible]

取扱
戰爭保險
戰爭死亡傷害保險
上海火災
日新火災
本社　東京都麴町區丸ノ内
臺北出張所　臺北市本町三ノ一

第七期決算公告
昭和十八年十二月三十一日現在
[illegible]
臺灣火藥統制株式會社

第三回決算公告
昭和十八年十二月三十一日現在
[illegible]
高雄材料株式會社

父莊添禮儀老衰ノ爲メ享年七拾四歳ヲ以テ二月廿二日死去致候間此段謹告候也
追テ告別式ハ[illegible]
臺北市[illegible]町一ノ十一
男　莊垂柑
孫　莊錫慶
祖仁義
親戚友人一同

會葬御禮　黒木善男

南方進出者必携
南洋年鑑（第四回版）上下二卷　二五、〇〇
南支那綜覽　一〇、〇〇
友邦泰國の現況　三、八〇
[illegible]
財團法人南方資料館
臺北市圓山町八六番地

逓信從事員養成所生徒募集

一、募集人員　郵便科生八十名　電信科生百名

二、志願者資格　[illegible]

三、入學試驗　[illegible]

四、試驗期日及場所　三月七日、八日、九日ノ三日間臺北、新竹、臺中、臺南、高雄、花蓮港ノ六箇所ニ於テ施行ス

五、願書締切月日　三月一日

右入學希望者ハ當所ニ入學案内及願書用紙ヲ請求セラレタシ、尚詳細ハ二月十三日附臺灣總督府官報參照アレ

臺北市東門町一五九
逓信從事員養成所

航空ホテル女子給仕人募集

今回新設の株式會社臺北航空ホテルの女子給仕人として次の様な方を募集致します希望者は來る二月末日迄に東亞交通公社臺灣支社總務課（[illegible]）宛申込下さい詳細は面談の上御話し致します

一、年齢二十五歳以下の方

二、國民學校高等科卒業以上の方

三、仕込みの出來る方

昭和十九年二月二十三日
株式會社航空ホテル
財團法人東亞交通公社

廢業ニ就キ御挨拶

維時紀元二千六百四年二月必勝ノ春酣、吾等生ヲ[illegible]

[illegible]

臺北市表町二ノ一〇
（元）登錄商號　秩父屋吳服店　能宗定二
臺北市大和町二ノ六
辻惣吳服店　辻惣作

各位

會葬御禮　土田耕三

徵兵、青年教化に重點

十六年度に次ぐ大豫算（臺南）

【臺南電話】臺南市の十九年度豫算は過般來各委員を督勵、戰時決戰豫算の編成を急いでゐたが、この程決定を見二十二日發表を見た、之に依ると十九年度豫算總額は三百二十六萬圓の巨額に達し十六年度の三百九十六萬圓に次ぐ大豫算となり昨年度に比較して七十八萬圓の增額で、國民方針に則り戰力增强、官民懇談、青年訓練、時局認識の徹底、完遂の一途に邁進、時局下不急事業を取止め、主力を緊急施設に注ぎ防空施設、水道擴張等戰力增强施設に相當額が計上された、しかも新豫算が從來に倣はず他地方に比し低率なる戶稅をもつて賄はれた點は多年要望された市民負擔の輕減方を示すものとして大臺南市の躍進が窺はれる、十九年度の主要經費は左の通りで二十八、二十九兩日の市會にかけられる

△初等教育費（十五萬七千八百十二圓）△勤勞施設又は事業費（一萬四千五百四十五圓）△國民道場新營費（七萬三千二十九圓）△青年教化講究費（三萬七千二百二十九圓）△警察、保健、衞生費（二萬六千五百十三圓）△國土防衞費（二十四萬九千五百八十七圓）△國語普及、教化費（一萬四千十一圓）△土地區劃整理事業費（十六萬九千圓）△水道改良工事費（三十五萬七千四百圓）△[illegible]新營費（五萬二千八百圓）△皇民奉公會運動補充費（六萬圓）

飾窓が「奉公の窓」に

謀略撃砕の戰列へ參加

【臺北電話】戰局が苛烈化するにつれ、有り合はせで間に合はせようと、戰力低の要求から近頃頓にさびれた商店街の飾窓の活用に着目した臺北商業奉公會では先般來之等飾窓の戰時的轉換に腐心した結果漸々之を街の宣傳戰士に起用する事に決定、[illegible]と協議なる運動の下にマネキンや金ピカの裝飾品の代りにその日その日に即應した用語を大書した時の立札や[illegible]から戰意昂揚を盛り上げさせる事になつた、[illegible]の名も決戰下に相應しい「奉公の窓」に更生[illegible]が狙ふ謀略撃碎の戰列に加はる事になつた

海草採集や禮金を

ヨイコたち取まとめ獻金

【淡水】淡水東國民學校長松田常己氏は[illegible]下に則應し奉公精神を涵養し[illegible]の增產と防空必需品[illegible]を以て[illegible]して得た正月の小使を節約して受けた報酬[illegible]二月八日の大詔奉戴日に國民[illegible]海草採集せるものを賣却し又部落[illegible]等に奉仕作業の獻金を合した金六十八圓七十八錢、合計四百五十一圓五十二錢を校長と兒童總代は二十一日獻金として本社に寄託した

祭粢料傳達式

【屏東】今次聖戰勃發するや鼻眞の一員として征途につき赫々たる武勳を樹てて醜敵中[illegible]陛下の御楯として名譽の戰死を遂げた屏東市竹園町六〇番地故陸軍[illegible]伍長清水五郎氏の未亡人清水はるあさんに[illegible]天皇　皇后兩陛下よりの祭粢料傳達式は二十三日午前十時より市長公舍に於て神田市長、[illegible]助役、軍人援護[illegible]列の下に嚴粛に執行した

防空連絡會議

【臺中電話】決戰必至の現階段下防空の確立に萬全の備へを期しつつある臺中市では一層防空の强化を期する爲め二十二日午後二時より市民館に於て防空連絡會議を開催山下市長、中澤署長、佐藤警防團長以下市係官警防團の幹部等出席して

一、[illegible]防空要義

二、敎養

三、奉公防空群の强化

の三件について熱心に協議をなし午後五時頃多大の成果を收めて散會した

訓練の效力を發揮

女手に猛火と敢闘消火

【屏東】いざの場合には女でも防空訓練で習つた操法で防火作業に服するのだと決戰下銃後婦人の[illegible]を強く感じさせた頼母しい一中年婦人の奮闘がある、それは二十日午後四時半突如として屏東市柳町七十番地[illegible]氏の住家から子供の遊火が原因で猛火に煽れ男子ですら近寄らない猛火に決然として[illegible]を擧いて布頭巾で身を固めた美しい中年の婦人が我が家か[illegible]と思はせる如く防火の給水作業に[illegible]ひつつ獻身的に働いた、火災は一時間餘にして鎮火した然し婦人は[illegible]となつた[illegible]命となつて働き[illegible]こそ昭和十七年[illegible]

軍事知識

戰闘力の中心火砲（一）

使用目的による其種別

現代戰の花形は何といつても飛行機や戰車であるが最も華々しい戰闘をする場合に結局はその搭載火砲が物をいふ許りでなく一般に戰闘の勝敗となつて徐々その重要性を增大してゐるのである

火砲は　口徑上から大口徑、中口徑、小口徑砲にまた彈道の形狀から加農、榴彈砲、臼砲に分類せられるがここでは用途上から分類してその特徴を說明しつつ[illegible]に說及する

機關砲　機關砲と機關銃の意義は口徑十一粍以下のものを機關銃といひそれ以上のものを機關砲といふ、これには高射用、對戰車用、航空用搭載用の三種類がある、現今の機關砲は共に口徑十三粍、二〇粍、四〇粍程度のもので二〇粍級以下は高射用機關砲を持たず[illegible]機關銃と類似してゐて砲身の後坐力を利用して閉鎖機を自動的に[illegible]し彈丸裝塡も自動的に行ふ、然るに四〇粍級のものは[illegible]を有してゐて火砲としての形態を具へてゐる

一、高射機關砲

一般の高射砲は低空（高さ三千米以下）では死角が出來たり飛行機の對空速度が速いため[illegible]に困難となるので[illegible]ので、その中間區域は高射機關砲の[illegible]命中し[illegible]最大射高五、〇〇〇米に達する、然し[illegible]は一分間三百[illegible]に低下する、四〇粍級機關砲は[illegible]で初速八〇〇米（秒）、最大射高六〇〇〇米以上に達するが有効[illegible]十一[illegible]である、[illegible]飛行機の速度[illegible]

十三粍級機關砲の[illegible]は五〇五[illegible]位（小銃彈は十瓦內外）が初速八〇〇米（秒）最大射高三〇〇〇米に達し[illegible]は一分間に四百發以上である

二〇粍　機關砲は彈量一五〇瓦で初速八〇〇米（秒）

二、對戰車機關砲

[illegible]

三、航空機搭載機關砲

[illegible]

街庄長打合會

【東港】東港郡では十九日午前十時より郡公會堂に於て吉井郡守、三[illegible]、郡下街庄長其他關係職員出席の下に街庄長打合會を開催したが其打合事項は左記の通りである

一、[illegible]

二、甘藷作付面積の減退の件

三、十九年一期稻作生產關係の件

四、[illegible]供出の件

五、[illegible]

柔道の有段者試合

決戰體力の要說く老勇士

【高雄】高雄柔道有段者會では時局下必勝の意氣昂揚を圖るため二十日盛んな有段者試合を行つたが當日は五十八歲の草野五段、始め三谷三段、澤田六段、伊藤五段、名倉五段、川畑五段、小林、永島の各四段等何れも若者をしのぐ旺盛さを見せて近來まれなる柔道試合の盛觀であつたが、試合後、草野、三谷の老勇士は元氣一杯で「決戰下には年齡は言つて居られない」と交々語つた

[illegible]

繪畫で工場慰問展

美奉支部第一回の企て

【高雄】美術奉公會高雄州支部では第一回の美術展を街に生產戰に挺身しつつある産業戰士を慰問のため各工場に巡回移動展を開くべく準備中であつたが愈々會員の熱誠こめたる力作五十點が揃つたので

[illegible]

臺中市會は廿六日

豫算總額二百七十六萬圓

【臺中】昭和十九年度臺中市歲入出豫算は總額二百七十六萬圓四千二百圓、[illegible]これが審議する市會は二十六日に招集されるが新年度に於ける新規事業並に主なる增額は大體左の通りである

[illegible]

防空群の查閲實施

各分團から五群を選拔

【高雄電話】敵の狙撃が何時何處に落ちるか、寸毫も許さない現情勢下に鑑み、奉公防空群の强化に努力しつつある高雄市警防團では、最近して來た英米の決戰に備へて目下各群に實施しつつある訓練に一段と拍車をかけるべく[illegible]を實施する事に決定、三月五日より十四日迄に區長、十八日より三十日迄に警防團長が夫々查閲を行ひ、更に四月一日より七月迄の間に各分團より五群を選拔し、本田市長及び內田[illegible]等が查閲を實施する事となつた、實施要領は次の通り

一、人員及び防空器具

二、服裝及資材の點檢

三、防護組織及び群員の動作

四、防火實習

五、其の他

熱誠の乙女千餘名

看護助手へ一割の嚴選

【臺中電話】第三回陸軍看護助手應募者一千二百九十七名といふ多人數の志願を見前回に比較して[illegible]熱的數字を示した臺中州では[illegible]來これ等志願者に對し嚴選を重ねた結果二十二日漸く百四十七名（內地人十七名）の合格者を發表各自宛通知書を發したが栄冠を獲得した看護助手等は十人強に一人といふ嚴選だけに[illegible]の活躍を期待されてゐる

十九年度屏東市會

特に防空費に重點を集中

【屏東】昭和十九年度第一回屏東市會は二十二日市役所會議室に招集されることになつたが、上程される昭和十九年度歲入歲出豫算案は次の通りである

歲入經常部

財産より生ずる收入　一九、七九九圓

使用料及手數料　三〇三、五七一圓

[illegible]

女子農業挺身隊を

各市郡別に錬成

【高雄電話】決戰增產の重大要務を擔うて增產一途に邁進する高雄州では[illegible]並びに[illegible]に配屬した女子農業挺身隊の活躍[illegible]する爲め之等の指導者並びに婦女子農業挺身隊を各市郡別に錬成することとなつたが、鳳山郡では二十一日より二十四日迄鳳山郡庄役場の錬成を、又三月六日より八日迄女子農業挺身隊の錬成を鳳山青年道場で實施する事となつた、因みに此の錬成會には州より西岡技師他數氏が講師として臨席する

一、[illegible]

二、[illegible]

昭和十九年度屏東市稅賦課率

一、地租附加稅―地租ノ百分ノ六十

二、營業稅附加稅―營業稅ノ百分ノ[illegible]

三、家屋稅附加稅―家屋稅ノ百分ノ五十

四、特別營業稅附加稅―同稅ノ百分ノ五十

五、鑛區稅附加稅―同稅ノ百分ノ[illegible]

六、特別稅

イ、戶稅　[illegible]

七、[illegible]

參詣者からの獻金

女子青年團員の蹶起で

【大溪】大溪街內栅女子青年團では[illegible]日より[illegible]日内栅附防空[illegible]力增强の一助として[illegible]は男子青年團員が總力奉公[illegible]する一般參拜者に對し[illegible]正月を[illegible]の寄附をなし[illegible]女に一錢でも多く飛行機、一機でも多く獻金[illegible]て參詣者に[illegible]しめた結果[illegible]せしめた[illegible]

豚一頭から靴五足

皮革資源確保に割當增殖

【屏東】米英擊滅に挺身せんとして皮革資源の[illegible]部民は此の[illegible]のみならず[illegible]

高雄海軍軍需部

雇傭員募集〆切廿三日

【高雄】高雄海軍軍需部では左記の通り雇傭員の募集を行ふが、志願者は二十三日迄に同部に申込まれたい、尚試驗は二十四日で志願者は午前八時迄に[illegible]の上、午前中に集合の事

[illegible]

年齡は十五歲より四十五歲迄にして採用の上は[illegible]

前沙鹿街長懲役一年の判決

【臺中】大甲郡沙鹿街長に係る公金費消事件（[illegible]）の判決公判は二十一日午前十時より臺中地方法院にて佐山判官係、佐藤檢察官立會の下に開廷[illegible]

臺中州下中等實業校卒業式日割

【臺中】昭和十八年度臺中州下各中等學校卒業式は左記日割に依り擧行されることに決定した

三月一日豐原商業、二日彰化商業、四日彰化工科、六日員林家政、七日彰化家政、臺中商業家政、八日豐原家政、九日二中、一中、彰化高女、六中實踐、大甲家政、北斗實踐、十一日臺南高女、臺中[illegible]、十二日大屯[illegible]、十五日后里實踐、十八日員林實踐、臺中工專、二十日臺中商業、二十二日彰化實踐

澎湖要塞司令部へ國防獻金

澎湖廳要塞司令部に本年二月中に左記國防並飛行機獻金があり係官をして感激させて居る

[illegible]

赤誠の獻金品

軍司令部（十一日迄）

國防獻金　[illegible]

ラヂオ

第二放送

◇六・二〇 [illegible]

◇七・〇〇 時報

◇七・二〇 大東亞の旅と地理 [illegible]

◇九・〇〇 時報

◇九・四五 戰時保育所の時間、アカイモノシロイモノ

◇一〇・〇〇 國民學校放送、劇「十一歲の少年技師」

◇〇・〇〇 時報

◇〇・二〇 フクチャン南へ行く

◇一・〇〇 朗讀、明治名作讀、じいさん、ばあさん

◇一・三〇 療養所の時間、俳句の味ひ方作り方（一）

◇四・〇〇 戰時中等學校教育講座、[illegible]

◇六・〇〇 少國民の時間、シンブン、闘空の子供部隊

◇六・三〇 音樂、[illegible]ケット

◇七・二〇 合唱とピアノ、來れや來れ他、[illegible]

◇八・〇〇 [illegible]

◇九・〇〇 時報

[illegible]

椰子（161）

海野十三作

村上松次郎繪

宇宙艇の竣工（11）

タラセアの町は、宇宙艇見物の住民たちで、[illegible]その日の夕暮になると、このさわぎは更に擴大されるに至つた。それは、この大ニュースを聞いた他處の連中が町へ殺到してくるためであつた。

或る者は、船で海を渡つて來た、氣の早い者は、どんどん飛行機をとばせてやつてきた。色の黒い原住民たちも、小さな船から始まつて原始的なカヌーまで動員して、續々とこの町へ集つてきた。

たちまち町のホテルといふホテルには滿員になつてしまつた。宿のとれなくなつた旅客たちは、誰が住んでゐる家だらうとお構ひなしに、町の住宅の玄關を軒並に叩いて、どこでもいいから泊らせてくれと、半ば哀願し、半ば脅々しく這入りこんだ。

町の辻々には、[illegible]が立てられ

[illegible]

その中には、家に引込んでゐたらよささうに思ふ老人の旅客や、また中に足の不自由な老婦人や、それが赤い旗、黃いろい旗をふりしぼつて、宇宙艇へ歡呼の聲をなげつけるのであつた。[illegible]

[illegible]

恤兵金

[illegible]

國防獻金

[illegible]

特許意匠商標實用新案

中松特許法律事務所

滿洲國　支那　獨逸

[illegible]

今日の映畫

大世界　臺劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座　臺灣合同興行直營　基隆劇場　國際館　新竹の映畫　新竹劇場　有樂館

基隆・竹陽地區

[illegible]

海賊旗吹ッ飛ぶ

鐵魂一閃！海賊旗木ツ葉微塵！

總指揮 マキノ正博

演出 辻吉郎

二十三日封切

悲壯・わが子戰ふ敵艦に放つ砲彈！

大義親を滅する日本武士道の眞髓躍如として火と燃ゆる英奴擊摧巨篇！

同時封切 特報日本ニュース 一九二號

凄然ラバウル空の決戰

80錢稅共

高田浩吉

大世界館

合同興行直營

東寶

來た！擊て　斷じて勝つぞ！

ちつり石門必死の決捕物帖

新版拾萬石秘傳

嵐寛壽郎・深水藤子・原健作・外日活豪華陣

同時封切・時局萬歲映畫 無駄征伐行進曲

23日封切

29日マデ1週間

料金 下80 上1・20

國際館

齒科 須永醫院

臺北市末廣町一ノ一

電話九三六四番

須永務

齒科 澁谷醫院

臺北市新起町一ノ十二

電話二八八九番

澁谷孝雄

臺日案內

解備廣告　呂平安

高密工業株式會社

元鈴木電氣商店

看護　看護婦を求む

洋裁　女子　電話　炊事　菓子　貸間　電話

レン　アルゼンカメラ入荷　ラジオとレコード　和音　ラジ　引越　陸上　引越　引越　冷藏　斷食　引越　植木　家の

[illegible]

上女中入用

經驗アル者採用

名

軍人會館

中根一太郎

夕刊
臺灣日日新報

國民軍進擊に印度國內動搖
英人早くも引揚げ準備

【ビルマ〇〇基地二十二日發同盟】インド國民軍最高司令部は二十一日アラカン作戰開始以來の沈默を破りインド國民軍の第一線部隊が日本軍との密接なる協力の下に赫々たる戰果を收めてゐる旨を發表したが、この快報は國民軍の活躍を期待してゐた在ビルマインド人を喚起させ同一解放陣にすべてを捧げんとする熱意を燃え上らせてゐる、然もこのインド國民軍活躍の報は敵英國に對してインド人の要望よりする反英と祖國解放運動がインド人自身の祖國愛によつて行はれつつある現狀を證明した證左として多大の衝擊を與へてゐる、更にインド內にあつても英國の施政下に呻吟せるインド民衆にインド人の軍隊によつて英軍が擊破され獨立達成の時期近づきつつある感を與へ、又世界に向つてはインド民衆の[illegible]を阻止せんとする英國の[illegible]を[illegible]して日本の正しき[illegible]を證明するものである、[illegible]インドを[illegible]と恃む英國を一段と窮地に追ひ込みつつあるは蔽ふべからざる事實となるに至り、國民軍の進擊開始以來インド內に起りつつある動搖は日と共に增大し英當局をしてインド人の動向に神經過敏ならしめてゐる、英印政廳はアラカン戰況に關する報道においても未だ國民軍の行動については一語も觸れず、その活動振りを隱蔽するに躍起となり、中央立法議會におけるオーピンレツク英印軍司令官ウエーベル總督との演說も極力日本軍を誹謗すると共にインド人に對して[illegible]を示し民衆の慰撫に努めてゐる有樣である、然も傳へられるアラカンの現況はインド民衆の國民的[illegible]を徐々に深化させて居り、他方在印英人は戰況の進展と共にインドにおける英國の立場に不安を抱き、[illegible]在印英國資本の[illegible]に[illegible]し英資本家達は早くも家族諸共インドからの引揚げ準備に執りかかつてゐる、殊に國境に近いベンガル、アッサム兩州ではインド民衆間に反英暴動の兆が見られ、目下英印政廳は兩州政府と英人引揚げ問題について協議對策を攻究してゐる樣子である、又歐洲のある地區では[illegible]が中止されて英米[illegible]局の完全なる統制下におかれてゐるとも傳へられてゐる、かかる折國民軍最高司令部から發表された國民軍活躍の報がインド民衆に與へる影響は甚大で、インドの反英運動は今後一段と深刻化するのであらう

英軍兵站線に脅威
皇軍挺身・敵の救援阻止

【リスボン二十一日發同盟】アラカン戰線では皇軍挺身部隊の背後進出によつてマウンドー、ブチドン[illegible]下の英第十五軍團は重大な打擊を蒙つてゐるが、マウンドー、バツテン司令部は二十日の公報において英軍は英軍陣地の背後に突入した日本軍部隊と激戰中であり、英軍兵站線は依然敵に曝されてゐると述べ、更に次の如く報じてゐる

英第七インド部隊は日本軍がナケドーク峠を通ずる兵站線を遮斷したため孤立化したが、他の英軍部隊は同部隊を救援しようとしてゐる、しかし日本軍は英軍の救援を出來るだけ困難ならしめようとして英軍兵站線に喰込んでゐる又十八日在日本軍挺進部隊はモンドウ北方〇〇哩の道路上に突入するに成功した、又UPニユーデリー電報は次の通り報じてゐる

ナケドーク峠の東端が依然戰局の中心になつてゐる

獨機英本土を猛爆

【ベルリン二十二日發同盟】ドイツ軍當局はドイツ軍飛行機編隊が二十一日夜再びイングランドを東南部及ロンドン地區に猛爆を加へ多大の成功を收めたが、ドイツ軍の損害は輕微で未歸還一機なる旨二十二日發表した

獨軍ホルム市撤收

【ベルリン二十二日發同盟】獨統帥部は二十二日の公報を以てドイツ軍は一切の軍事施設を破壞した後豫定の計畫に從つてヴエリキエ・ルーキ北方九十粁のホルム市から撤收した旨發表した

國民貯蓄配分 取扱機關別決定

【東京電】昭和十九年度國民貯蓄目標額二百六十億圓の內六大都市所在府縣目標額に關しては二十一日決定を見たが、大藏省では引續き貯金保險、銀行、信託などの貯蓄取扱機關別配分を決定するため二十二日午前十時本省において貯蓄取扱機關代表者會議を開催、協議の結果十九年度の貯蓄及取扱機關別金額收目標額を左の如く決定、國民貯蓄目標額二百六十億圓の七割九分強に當る二百八十六億圓を各貯蓄取扱機關に割當てることになつた、尙今回決定した各貯蓄取扱機關別貯蓄目標額の前年に比し增加する增加額は左の如く市街地信用組合八割七分五厘を筆頭に郵便貯金七割三分八厘、組合金融六割九厘、信託五割七分二厘と大幅增加を示してゐるが、貯蓄銀行のみは普通銀行との合併に依り銀行數が減つたため七分六厘の減少となつてゐる

昭和十九年度國民貯蓄取扱機關別貯蓄收目標額（單位百萬圓）

	昭和十九年度目標	前年比較（增加割合）
貯金保險局	八、四〇〇	〇・六二四
（イ）郵便貯金	七、〇〇〇	〇・七三八
（ロ）簡易生命保險及郵便年金	一、四〇〇	〇・一〇〇
普通銀行統制會	六、一〇〇 （六、八〇〇）	〇・一三一
地方銀行統制會	四、〇〇〇 （四、一〇〇）	〇・二〇〇
貯蓄銀行統制會	二、八〇〇 （四、〇〇〇）	〇・五七
信託統制會	一、一〇〇	〇・五七二
生命保險會社統制會	一、四〇〇	〇・一三〇
無盡統制會	六〇〇	〇・一二六
組合金融統制會	四、三〇〇	〇・六〇九
市街地信用組合統制會	二〇〇	〇・八七五
計	二八、六〇〇 （二九、六〇〇）	〇・二五〇

備考　括弧內は當座預金を含みたる金額とす

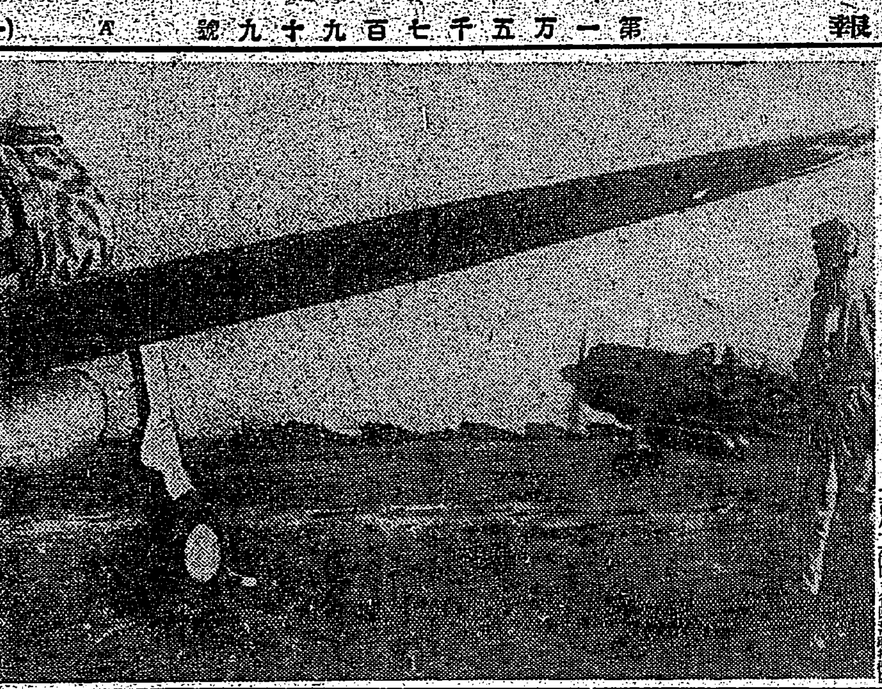
增炭へ綜合行政運營

【東京電】政府は福岡鑛山監督局の機能を强化し、九州炭の供給を確保するため九州地方行政協議會長福岡縣知事吉田茂氏をして福岡鑛山監督局長を兼務せしめることとなり、二十二日の閣議で決定、二十三日左に依る異動を發令した

に兼務により左の如く發表した、卽ち今明年を通ずる石炭增産計畫の線に於て九州炭の占める比重は極めて大きく、石炭の增産計畫を確保するためには勞務者の充足、坑木その他資材勞務者用食糧、生活必需物資、住宅の確保、資材方の[illegible]

嵯峨東陵〝奉告の儀〟
京都御陵所で嚴修さる

【京都電】畏き紀元の佳節に御地定あらせられた嵯峨東陵は二十三日午前九時三十分京都市右京區嵯峨天龍寺角倉町の同御陵において松平宮相、金田京都府知事、三浦知事等多數參列、嚴かな祭典以下奉仕の下に厳かに執行された



緬印國境戰線

[illegible]—ビルマ前線〇〇基地にて—[illegible]特派員撮影【同盟寫眞傳送】

決戰議會の焦點

彼我戰爭目的の相違
重大言明に昭然と闡明

第八十四通常議會は二十一日開院以來、[illegible]を通じて本議會に、また各委員會に、[illegible]大臣を始めとして[illegible]相次いで東條首相兼陸相、重光外相、青木大東亞相等の[illegible]は[illegible]、これら三大言明を通じて明かにせられたところを綜合すれば、世界政策の面においては

一、彼我戰爭目的の相違の明確化と世界新秩序建設宣言の宣揚

二、中立諸國、殊にソ聯に對する帝國の態度の闡明

三、敵國の思想謀略と對敵の勝利などであり、また大東亞政策の面においては

一、大東亞宣言の大理想と具體的政策

二、印度獨立運動支援方針の再確認

の二大要目にあつたといへよう、しかして、これらの見解披瀝を通して大東亞帝國の世界政策、大東亞圏の建設の不可分な一體たるべきことを益々明らかにし[illegible]

世界政策

[illegible]

大東亞政策

[illegible]

分割支配

[illegible]

政府施策

[illegible]

搾取なの

[illegible]

絕對支援

[illegible]

安藤內相

[illegible]

遲しい南方農業開發
自給から戰力化へ躍進

【ジヤカルタ發同盟】大東亞戰下初の南方農業會議とも云ふべき軍政監部主催南方農業會議が過般ジヤカルタに開催され、多大の成果を收めたが、同會議に出席の軍政監部農業部長は南方各地の食糧及び纖維作物等の逞しい增産狀況について次の如く語り注目を惹いた

一年足らずで躍進

南方占領以來二箇年、農業方面における實際的試驗研究機關は未だ一年そこそこにしかならないが、今度の會議において數多くの研究の成果が發表されたとともに原住民農民の目覺ましい努力振りをはつきりと見ることが出來て誠に力强く感じた、長い間英國並にオランダは國際的輸出作物については多大の費用を投じて試驗研究並に指導を行つて來たが、食糧作物の如き原住民農民については全く放り出しのままであつたが、占領以來僅かの間に日本農業技術の指導によつてこんな素晴しい成果を收めたのであるから今後日本農業技術の本格的導入によつて原住民農民は豫想外の成果を收め得るものと期待してゐる

馬來其他食糧增產

[illegible]

纖維の五ヶ年計畫

[illegible]

油脂作物も增產

[illegible]

過剩農產物の利用

[illegible]

困難

[illegible]

高橋財務局長歸任

[illegible]

臺灣糖の增產方策
內務省て關係官廳協議會

【東京支社特電】臺灣糖の增產に關する關係官廳連絡協議會は二十三日午前十時より內務省に於て開催、[illegible]

一、最近の糖業狀況及び之が對策

一、二十、二十一年期以降の糖業生產計畫に關する件

[illegible]

（[illegible]辭令）[illegible]

第二次冬期決戰勃發か
東部戰線に戰運熟す

【ベルリン二十二日發同盟】ドイツ軍當局筋は二十二日東部戰線の戰況を展望し、近く第二次冬季決戰の勃發を豫測すると共にクリヴオイログ攻防の用意ある旨次の通り示唆した

[illegible]

獨軍大兵力を移動
バルト國境の防備强化

【ストツクホルム二十二日發同盟】ニユーヨーク・タイムス[illegible]

上陸軍の損害甚大
捕虜五千、負傷一萬二千

【ベルリン二十二日發同盟】ドイツ軍當局筋は二十二日ネツツノに上陸して以來一ヶ月間に蒙つた損害を次の通り言明した

[illegible]

歐洲英米空軍の損害
昨年中に三千三百餘機

【リスボン二十二日發同盟】ロンドン來電＝英空相シンクレアーは二十二日次の通り言明した

[illegible]

根據なき樂觀論
米朝野の一部に擡頭

【リスボン二十一日發同盟】[illegible]

急激

[illegible]

補給

[illegible]

米は樂觀せず
太平洋作戰

【リスボン二十九日發同盟】[illegible]

獨爆擊猛威を振ふ
ロンドン空襲に新戰術

【ストツクホルム二十二日發同盟】スウエーデン紙モルゲンチドニンゲンが二十二日報ずる所によればドイツ軍は最近北部戰線へ大兵力を移動、バルト三國國境の防備を著しく强化したと傳へられる

【ストツクホルム二十二日發同盟】ドイツ空軍は十八日夜の大空襲に引續き二十日夜もまた大編隊を以て約三十分に亙りロンドン並にその周邊を爆擊したが、ベルリンからの報道によれば、今回の空襲は[illegible]

中央蠶絲會評議員會

【東京電】日本中央蠶絲會では二十一日午前十時から內務省に[illegible]

ガンヂー夫人獄死

【寫眞はガンヂー夫人】

【リスボン二十二日發同盟】ボンベイ來電＝ガンヂー翁夫人は二十二日プレナの邸宅において逝去した、享年七十四

ペ州無煙炭罷業開始

【リスボン二十一日發同盟】ニユーヨーク來電＝ペンシルヴアニア州シエナンドア地區の無煙炭坑夫[illegible]

羅市電氣、水道罷業

【リスボン二十二日發同盟】ロサンゼルス來電＝サンジエルス[illegible]

寫眞は①銳氣潑剌と鍛錬體操②手を執つて温かき指導③軍規を培ふ敬禮動作の演習④隊長を圍んで訓練後の一時（仙臺〇〇部隊にて）

滅敵へ鍛ふ臺灣學兵

仙臺〇〇部隊

【東京支社發＝仙臺にて廣瀬特派員】[illegible]

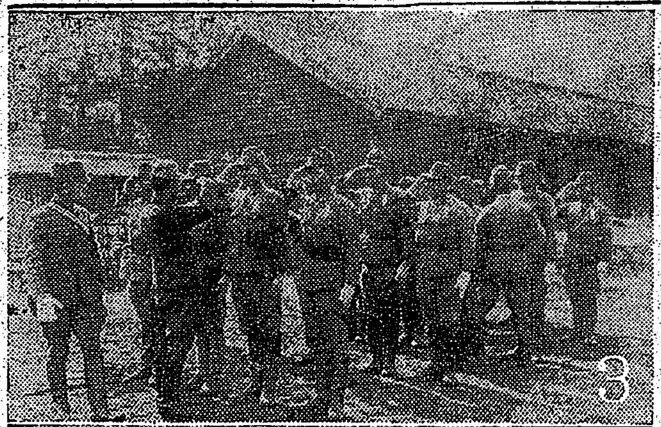
眞摯・學ぶ盡忠の道

上官の慈愛に伸びる學兵達

[illegible]

平山久喜　[illegible]

德富外彥　[illegible]



一日も早く前線へ

決意は凛"死中に生あり"

久保木度行　[illegible]

林振仁　[illegible]

張德水二等兵　[illegible]

新島茂二等兵　[illegible]

總督奉納、扁額と花瓶

けふ奉納奉告祭を執行

[illegible]

高度國防都市建設へ

島都區制　六十一區へ縮小强化

區會に庶務・錬成・經濟三部を新設

三月十日から新發足

[illegible]

新劃區表

[illegible]

臺北市定例區長會議

[illegible]

胸の名札は不徹底

防空態勢强化の要あり

南署で防空訓練研究會

[illegible]

一、頭部を保護する防空服裝整備について

[illegible]

二、救護動作について

[illegible]

三、燈火管制について

[illegible]

四、待避動作について

[illegible]

五、救出作業

[illegible]

六、其の他

[illegible]

轉業者を動員

花蓮港市で蔬菜の增產

[illegible]

愛國機獻納

方委聯盟から二萬四千圓

[illegible]

武官府への獻金品

[illegible]

女子理容師講習會

[illegible]

新竹佶供員も總蹶起

決意を表明

[illegible]

彈丸切手一二等當籤番號

[illegible]

本日「倭水軍」休載

忠孝正義世界に誇る日本武士道の精華　24日封切
演出マキノ正博・天の巻・地の巻一擧上映……
最新版　日活巨作
忠臣藏
阪東妻三郎・片岡千惠藏・嵐寛壽郎・轟夕起子
總動員　70セン　共稅　映畫
臺劇
合同興行直營

健康報國
戰時だ働かう
冷症・神經痛・リウマチス
各種皮膚病・溫泉風呂に
ミネラール
臺北州賣藥製造工業組合

勝ちぬくために
お母さん方も
頑張つて下さい
こんな婦人に！
冷え込み、感冒發熱
月經不順、產前產後
下腹、腰下足の痺痛
頭痛眩暈、逆上便秘
神經痛、其他病弱體
定價 0.50 1.00 2.00
全國有名藥店ニアリ
婦人良藥
たらちめ湯

決戰！
この體力！
この氣力！
捨身の敢闘に
六一〇ハップ
眞に溫まる

胃酸過多
胃潰瘍に
ビオトモサン錠
一四五〇・三四七〇・藥店にあり

男女の新職業
東京鍼灸醫學研究所